

2024年6月16日発行

事務所 武石地域総合センター内
TEL:0268-85-2511
<https://www.s-takeshi.jp>
印刷 中澤印刷株式会社



浄土宗開宗850年法要 稚児行列も

下武石藪合の正念寺は、4月28日(日)法然上人が平安時代末期の1175年に浄土宗を開宗して850年を記念した慶讃法要を開催しました。

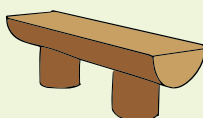
10時30分に小沢根松井建設事務所前を、^{めいぎ}銘旗を先頭に奥寺浩司住職や松井幸夫檀信徒護持会長など着飾った50名ほどのおねり行列が出発しました。10名のお稚児さんも行列に加わり、1歳のお稚児さんはずっとお母さんに抱っこしてもらって正念寺までの行列参加でした。

午後は正念寺本堂で大法要が行われ、その後立川談慶、月亭方正両師匠による「笑延寿寄席」が催され檀家の皆さんをはじめ多勢の方が落語を楽しみ開宗850年を祝いました。

お知らせ

休憩にご利用ください

つくる会自然生活環境部会は、5月12日(日)と15日(水)に、鳥屋の県道沿い小山北側の武石観光案内看板や武石十景(小山の秋月)看板の脇に、桜・ハナモモなどの植栽とベンチの設置を行いました。下本入の花楽里さんからいただいた浅間山の噴石も利用しました。休憩にご利用ください。



第8回仮装大賞が開催されます

日時 9月15日(日) 13:00~
会場 上田市武石地域総合センター
主催 武石風土つなぎ隊

*** 出場者募集中 ***

締切 6月30日

下記ホームページから応募できます
<https://www.tkasoh.com>



住みよい武石をつくる会2024年度 定期総会開催

住みよい武石をつくる会の2024年度定期総会を、4月25日(木)午後7時から武石地域総合センターで開催しました。

開会で児玉卓文会長は、「住みよい武石をつくる会は今年は発足して8年目に入る。委員の皆さんは6つの部会に所属し活動してもらっているが、初心に立ち返って会の理念を検証し活動をしていただきたい」とあいさつしました。

来賓の酒井武石地域自治センター長からは、「コロナ禍後特に地域コミュニティの減退が感じられるが、地震などの災害が起きると武石地域では10集落の孤立が起きる可能性もある。そうした中で昨年の夏祭りなどでは地域一丸となった賑わいなど一体感を感じることができた。今後も地域の特性を生かした活動をお願いしたい」と、挨拶がありました。



議事では2023年度事業報告、決算報告、2024年度事業計画、予算などが審議されました。

(1) 2023年度事業報告、決算

① 2023年度事業

2023年度は、会の自主事業、他団体との協働・協力、調査や研修への参加など、次のような事業が実施されました(主なもの)。

- ・環境保全・景観整備
- ・七ヶ公友会の武石公園整備事業協力
- ・武石新橋付近の公園と法の草刈り
- ・熊沢峠トレッキング
- ・松くい虫防除等環境・観光整備事業への協力
- ・美ヶ原台上ヨガなど健康増進事業
- ・武石夏まつりへの参加
- ・地域づくり講座、まちづくり講演会・研修会等への参加

② 2023年度本会会計の決算概要

●一般会計

歳入	3,111,020円
歳出	2,947,516円
差引き	163,504円

・歳入(主なもの)

市からの交付金	2,947千円
事業収入	27千円
前年度繰越金	136千円

・歳出(主なもの)

会の委員・役員手当	585千円
事務職員賃金	1,017千円
消耗品	145千円
インターネット接続費	90千円
武石八景看板設置費	216千円
広報印刷費	572千円

③ 2023年度無線情報システム(エリアトーク) 特別会計概要

加入戸数は831戸(加入率71%)、定時放送でのお知らせは1,110回となっています。

●収支概要

歳入	4,394,379円
歳出	4,212,328円
差引	182,051円

・歳入(主なもの)

加入者負担金	3,746千円
有料放送手数料	53千円
前年度繰越金	584千円

・歳出(主なもの)

アナウンサー賃金	828千円
中継局間電話料	279千円
設備器具保険料	54千円
器具更新のための積立金	3,000千円

(2) 2024年度事業計画・予算

① 2024年度は、会発足以来の7年間を検証しながら、地域課題へ取り組む事業を進めます。

- ・熊沢峠トレッキング
- ・武石の縁が輪事業の運営支援
- ・地域農産物供給実証実験
- ・武石八景案内板設置と整備
- ・地域環境整備
- ・親子農業体験

- ・空き家対策の研修と研究
- ・各種の健康維持・増進活動
- ・地域福祉活動
- ・子供と大人のふれあい交流会
- ・広報紙発行、ホームページ更新など広報活動

② 一般会計の予算は、歳入・歳出3,246千円、歳入は市の交付金3,072千円、歳出の内容と規模は前年度とほぼ同じで組みました。

③ エリアトークについては、通常の管理運営事業計画となっています。

●予算総額

歳入・歳出	3,923千円
-------	---------

内訳は

- ・歳入は、加入者負担金が3,700千円、前年度繰越金が182千円。
- ・歳出は、人件費・通信費などの運営費が1,459千円、設備更新の積立金が2,300千円などとなっています。

総会終了後、ふれあい交流など各部会を開き、それぞれ新しい年度の実業計画の具体化などを協議しました。

子育て教育文化部会は部会長の改選があり、互選で部会長に芹沢^{あやこ}文子さん、副部会長に大沢拓真さんと北原知佳さんが選出されました。

地域の出来事・つくる会の活動

堂坂親子農園日記 産業経済部会

4月13日(土)、下本入堂坂で5組の親子と産業経済部会員など総勢24名で「ジャガイモの植え付け」を行いました。各世帯20個のジャガイモを植え、それぞれの世帯の看板を子どもたちが書いて立てました。お天気にも恵まれて気持ち良く作業ができました。

5月25日(土)には2組の親子が参加し部会員とともに12名で芽かき作業を行いました。大きなお芋が採れるよう3本に仕立て土寄せも行いました。

栽培をしたジャガイモは、夏祭り等で活用していく予定です。



余里の一里花桃

余里の花桃は、季節の到来を示す信州の風景として定着した感があります。3月4日(月)には、「めざましテレビ」(フジテレビ系)の「まいにちランキング桃の花の名所」で、全国3位にランクされました。

上田周辺の福祉施設では通所者・入所者の気分転換の場所として、花の時期は出掛けるコースに組み入れているところが多く、4月22日(月)は、上田市殿城のローマンうえだから片道40分ほどかけて、2台の車に分乗して10人ほどが訪れていました。介護予防コースの皆さんで、この週は



金曜日まで5日連続で訪れ、花を楽しみながら散歩することです。「去年は時期が悪かったが、今年はちょうどよかった」と、皆さん笑顔で楽しんでいました。

また花桃まつり中の4月27日(土)・28日(日)には、余里地区へ移住された古川誠さん(本紙2月号で紹介)宅で「よりみちぎゃらい」が開かれ、ご自身の絵や竹製のバターナイフなどが展示販売されました。これらの作品は古川さんが毎日一つのことを続けようとして作成してきたものとのことです。



吉岡正男氏のブロンズ群

また2階には、彫刻家吉岡正男さん(奥さんのお父さん・東京芸大卒)のブロンズ作品40点余りが展示されました。

知人などを中心に40組以上が訪れ作品を鑑賞していました。

親子で山と親しみ・楽しむ集い (株) KIKORI

5月3日(金・祝日)、小沢根宿小屋の市道沿いで小学生とその親を対象に“親子で山と親しみ・楽しむ集い”が開催され、武石地域をはじめ市内から約20人の参加がありました。

会場では、立木の伐採見学とチェーンソーアートの制作見学がありました。直径約50cm、高さ20m程の立木が地響きと共に倒れる大迫力のシーンには「おおっ!」と声が上がりました。チェーンソーアート制作では、大きな切り株から動物を切り出す作業や、木片を削って文字を刻み込むネームプレート制作などが行われ、巧みなチェーンソー操作に驚いていました。輪切りした木片に絵の具で色付けする木片アート制作では、親子で作品作りを楽しむ姿が見られました。

イベントを企画した(株) KIKORI(上武石)社長の若林幸雄さんは、「地域の小中学生の若い世代に森林の大切さや素晴らしさを知ってもらいた

い、将来林業に携わる人が出てきてほしい。今後も工夫をしながらイベントを行っていきたい」と話しています。



小沢根の聖観音像

郷土史家 見玉卓文

1981年(昭和56)の『上田・小県』第45号(上田小県教育会発行)に、上田北小学校の宮本達郎先生が次のような記事を寄せています。

昭和54年3月25日、武石村小沢根区では、荒れて忘れられようとしていた観音堂と観音様を整備して区の祭典行事として蘇らせ、区民みんなが仲良くまとまっていくことと、立派な観音様を後世に伝えていこうと、信広寺の和尚さんを招いて法要を行った。

区の皆様の努力は特筆すべきことなものと、小沢根区の知人滝沢和夫さんに話を伺いながら実地踏査とその他の調査をして、その結果を以下のようにまとめました。

○観音様は乞食坊主が背負ってきたと伝えられている。

○大正末から昭和の頃、観音堂は子供の遊び場であった。観音堂に向かって右の寺の庫裏にあたる建物は小沢根の公会堂で、お爺さんが住んでいてお堂を管理していた。そこでは武石村で一番古くからある寺子屋式の夜学が開かれており、一段高い所に先生の座があった。

○観音堂は昔は六六地籍の「十手観音」のある所に草庵とともにあったが、余里川の氾濫で流されたので遷されたと伝えられている。

○観音堂の裏に、お坊さんの墓である完形品13基と破損品1基の無縫塔(卵形塔・坊主石塔)があり、観音堂の移転は中世までさかのぼるかもしれない。



令和6年4月、観音堂周辺の春模様

観音様は、高さ121.9cmの寄木造りの聖観音立像です。昭和40年、仏教美術の文部省文化財調査官倉田文作氏(上田市出身)の写真による鑑定で平安前期風を模した江戸中期の作とされ、昭

和47年4月27日に武石村有形文化財に指定され、現在は上田市指定有形文化財です。

上田市は、平成28年から仏像の時代確認と活用事業推進のため、仏教美術専門の実践女子大学武笠朗教授(上田市出身)らによる調査を行っています。この観音像は、同年9月10日と令和4年10月29日に調査され、面部・左肩・表面仕上げ等以後世の補修があるものの、体部は平安時代前期(10世紀)の作と判定されました。

『武石村誌』は、平安時代前期の武石地域は、人影まばらで村をなしていなかったとしています。「乞食坊主が背負って来た」ではありませんが、観音像は後の時代にどこかから運んできたと考えられないこともありません。

宮本先生は、伝承どおり観音堂は六六地籍から移ったと考え、「十手観音」に刻まれた「于時正徳五末年(1715)」から、その時期を江戸中期とし、観音像造立時期と符合すると思いました。

「十手観音」という仏像様式はありません。現在猪子路田の道端に移されているこの石仏は庚申塔と呼ばれるもので、道教と習合した庚申信仰の本尊で病氣や悪鬼払う青面金剛神を彫ったものです。庚申塔としては、古式で優れた造りです。

観音菩薩は衆生に現世利益の救済を施す存在で、飛鳥時代から信仰が広まり、像もさかんに造られました。小沢根の観音像は干手観音などに変身しない姿の聖観音像です。平安時代前期の造立とされた今、観音堂と観音様の由来について改めて考えてみたいと思います。



武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体

上田市商工会武石支所の事務所内に設置されている武石スマイル号受付センターでは、利用者からの電話対応、運行情報の打込み、運転手さんへの運行連絡などの業務を2人体制で行っています。一日に平均で20～30人が利用し、特に火曜日と金曜日の利用が多いとのことですが、運行が休みとなるお盆の前頃は買物などで1日40人以上の利用があるそうです。

現在、武石地域で平日昼間の移動手段を担う武石スマイル号は、運行開始から18年目となります。

令和5年度の利用者合計は6,740人程で、この内一般利用者が約5,340人、園児・小中学生の通園・通学利用が約1,400人となっています。

コロナ禍で一時減少した一般利用者数はここ数年で戻りつつありますが、通園・通学の利用減少があり、全体の利用者数は減少傾向にあります。

また、運転免許自主返納者に支給される利用補助券の利用が増えているとのこと。



武石スマイル号は、自宅までの送迎ができて、通院や買物、窓口手続き、温泉、友達との交流、通園・通学など、日常生活の中で便利に使う事ができます。

運行サービスエリアは次の4エリアです。

- ① **武石地域フリーエリア**：自宅からお店、診療所、農協、郵便局、温泉、保育園・小中学校などへ（このエリア内には停留所はありません）
- ② **長和方面**：自宅から依田窪病院、たけなか医院の2か所の停留所へ
- ③ **丸子方面**：自宅から丸子中央病院、岸医院、ツルヤ、デリシア、など6か所の停留所へ
- ④ **大屋駅**：自宅から大屋駅へ

利用料金は、1回乗車300円（大屋駅600円）、割引回数券をスマイル号車内または商工会武石支所で



武石スマイル号受付センター
オペレーター **斉藤 尚美さん**
(上田市商工会 武石支所職員)

販売していますが、現金で乗車することも可能です。障害者手帳をお持ちの方は、料金半額になります。利用者の登録が必要ですが、登録用紙の提出か電話による登録もできます。



普段よく利用する方へは、住所や自宅への道順が分かっているので、配車時間を考えてお迎え時間を連絡しているそうです。また、行き先や目的なども分かるので、帰りの利用を想定して準備するとのこと。

武石地域内で近い場所の間の利用では、時刻表の時間以外でも運転手さんをお願いして、短時間でお迎えに行くようにしているそうです。

「時刻表による運行と30分前の予約受付が基本ルールですが、できるだけお待たせする時間が少なくなるように、考えながら運行や配車をしています。この辺の割り振りに日々苦労しています」と斉藤さんは笑顔で話していました。

「武石スマイル号を活用してお出かけしてもらえたら良いかなと思います。ご不明な点は受付センターへ気軽にお問合せ下さい」とのことです。

武石スマイル号受付センター

問い合わせ・申込

0268-41-4555

(上田市商工会 武石支所内)